

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	佐倉市さくらんぼ園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月21日 ～ 令和7年3月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年2月21日 ～ 令和7年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	温水プールがある	温水プールを活用し、一年中水中療育を実施することが出来る	こまめな整備を行い、故障の無いようにしたい
2	スキルの高い職員が多くいること 専門職が多数いること	不登校の児童に対して、学習指導を行い、楽しく学校へ行けるように支援している	学校との連携が不可欠で、より綿密に連携しながら、支援を行っていく
3	保護者も一緒に登園して頂くことで、お互いの情報交換の場になっている	学校や家庭での問題をいつでも相談できるように、職員から積極的に声を掛けるようにしている	就学後も子どもの成長に合わせて必要な支援が出来るように、常に準備する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービス専用の部屋がない プールが幼児用の為、小学校高学年以上は使用しづらい	未就学児の療育を目的として建てられた施設なので、放課後等デイサービスの活動を行うには使いづらい	大きく改装することは難しいので、空き部屋を上手く活用しながら実施する
2	預かり型ではなく、療育の延長としてプログラムを組んでいるが、地域のニーズを満たしていないと思う	多機能型事業所として、職員が兼務しているため、新しい活動を簡単に増やすことが出来ないが、対象が高校生までなので、何らかのプログラムを実施したい	ニーズを把握し、出来るところから少しずつプログラムを増やしていきたい
3	不登校の児童に対する支援が少ない	学校と連携が取りずらく、保護者からの相談に対して適切な支援が出来ていない	学校や行政と連携しながら、支援方法を検討する